

# 小規模企業景気動向調査

[平成25年4月期調査]

～ 堅調な回復が続く小規模企業景況 ～

2013年5月29日  
全国商工会連合会

## <調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2013年4月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

## <産業全体> ◇…堅調な回復が続く小規模企業景況…◇

4月期の小規模企業景気動向調査では、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)は、▲17.1ptで前月から3.4pt改善した。改善の幅は少ないものの、2期連続で全業種が改善となった。金融円滑化法終了後、金融機関の対応に大きな変化はみられないが、一部で条件変更や新規融資に対する厳しい対応や慎重な姿勢がみられるとの報告があった。経済政策や景気対策による好況の兆しは感じられるものの、地方の小規模事業者の隅々までには行き届いていない。

## <製造業> ◇…受注は好調だが、原材料価格高騰の影響がみられる製造業…◇

製造業DIは▲15.3ptで、2.8ptの改善となった。自動車関連は、引き続き受注が増加傾向にあり好調である。機械・金属関連では受注が増加しており、一部では、今後、更に取引先からの発注が見込まれるという報告が聞かれた。しかし、受注は好調でも原材料価格の上昇により、採算は厳しいとの報告も多い。食料品関連では、小麦などの原材料価格の高騰や、納品価格の引き下げにより採算が合わないケースもある。食品加工関連で、イカ釣り漁の休業による仕入価格の上昇で、苦しんでいるとの報告もあった。

## <建設業> ◇…消費税率引上げを見据え、住宅関連が好調な建設業…◇

建設業DIは▲1.0ptで、1.8ptの改善となった。住宅関連は、消費税率引上げを見据えた新築や増改築の受注が好調で、下請けの工務店や塗装関連も受注が増加している。公共工事は、災害復旧工事を中心に増加傾向である反面、年度初めで発注が減少した地域もみられた。工事の発注が多い地域では、重機や建築資材、職人の確保が困難なケースもみられる。建築資材や人件費が高騰しているが、厳しい競争のなか、受注価格に転嫁できずに全般的に採算は厳しい。

## <小売業> ◇…消費マインドに改善の兆しはあるものの、依然として厳しい小売業…◇

小売業DIは▲30.8ptで、3.0ptの改善となった。食料品関連は、依然厳しいものの、経済政策の効果などにより消費マインドがやや持ち直し傾向にあることから売上がわずかに増加した。衣料品関連は、天候が安定せずに、寒暖の差が激しかったこともあり、気候に合わせた品揃えが困難で、商機を逃したというケースも聞かれるなど、春物の動きが鈍かった。大型量販店やスーパーとの価格競争やネット通販の普及に加え、原材料価格が高騰していることから、依然として売上・採算ともに厳しい。

## <サービス業> ◇…春の行楽シーズン・GW前半の観光需要で好調なサービス業…◇

サービス業DIは▲21.6ptで、5.9ptの改善となった。宿泊関連は、GW前半が好天に恵まれ、客足が伸びた。飲食関連は、歓送迎会など団体客の利用で売上が増加したが、一部では依然として客単価の低下や個人客の減少がみられる。理美容業は、創業や新規出店が増加している地域があるが、競争が激しく、売上は減少している。クリーニング業は、4月前半の気温が低く、冬物のクリーニングが遅れ、売上が減少した。一部で介護関連業の創業が増加しており、利用者目線のサービスを提供することで業績を伸ばしているとの報告が聞かれた。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	3月	4月	前月比	3月	4月	前月比	3月	4月	前月比
売上額	▲16.0	▲14.0	2.0	▲12.2	▲10.1	2.1	4.6	1.7	▲2.9
採算	▲20.4	▲22.0	▲1.6	▲20.3	▲21.8	▲1.5	▲7.7	▲15.2	▲7.5
資金繰り	▲19.0	▲18.4	0.6	▲17.0	▲15.9	1.1	▲11.3	▲17.0	▲5.7
業況	▲20.5	▲17.1	3.4	▲18.1	▲15.3	2.8	▲2.8	▲1.0	1.8

業種	小売業			サービス業		
	3月	4月	前月比	3月	4月	前月比
売上額	▲31.4	▲27.5	3.9	▲25.0	▲20.3	4.7
採算	▲30.5	▲28.9	1.6	▲23.1	▲22.1	1.0
資金繰り	▲27.3	▲23.5	3.8	▲20.5	▲17.2	3.3
業況	▲33.8	▲30.8	3.0	▲27.5	▲21.6	5.9

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。